

Vevo 2100 利用方法

機械名	Vevo 2100														
利用者	生命科学動物資源センター登録者 Phenome Lab登録も必要 (http://www.md.tsukuba.ac.jp/LabAnimalResCNT/PLab/PhenomeLab.html)														
使用料金	1000円/回(使用替え)														
設置場所	マウス解析室1 (B棟3階)														
測定可能項目	B-Mode M-Mode Pulsed Doppler Color Doppler														
対象動物	マウス (免疫不全および感染動物は除く) ラット (免疫不全および感染動物は除く)														
移動可能な場所	マウス解析室1 ラット手術室 エリアA個体解析室 エリアB個体解析室 エリアC個体解析室 エリアD個体解析室 エリアF1個体解析室 エリアF2個体解析室														
管理方法	<table><tr><td>予約方法</td><td>1) B棟1階スタッフルーム窓口にて”Vevo2100予約表”を確認する。 2) B棟1階スタッフルームに”Vevo2100利用申請書”を提出 (ラットでの利用の場合は循環器内科・酒井先生の許可が必要)</td></tr><tr><td>利用時間</td><td>午前9時～午後4時 (原則)</td></tr><tr><td>イメージングステーションおよびプローブ貸出方法</td><td>利用当日にスタッフルーム1で借りる。</td></tr><tr><td>Vevo移動方法</td><td>マウス解析室1以外に移動する場合はセンターの職員立ち会いで行う。 別紙”移動手順”参照</td></tr><tr><td>消毒方法 (利用後および移動のため)</td><td>別紙”消毒方法”参照 本作業は共同利用上たいへん重要な作業となります。 誤った消毒方法は機器の故障や劣化の原因となりますので 必ず別紙”Vevo2100消毒方法”に従って実施下さい。 また清掃・消毒が不十分な場合は、次回利用が できなくなる場合がありますので注意下さい。</td></tr><tr><td>吸入麻酔キット</td><td>吸入麻酔のための導入ボックス、チューブ、マスク類、余剰ガス吸収缶 および肛門プローブの一式は利用場所別に準備してあります。 利用前に、B棟スタッフルーム1にて借用の申し出を行って下さい。 使用後は別紙”消毒方法”に従い清掃・消毒し保管箱に収納下さい。</td></tr><tr><td>返却方法</td><td>1) Vevo2100はマウス解析室1へ返却する。 午後5時までに返却できない場合は翌朝9時に返却する。 (移動はセンター職員立ち会いで実施する) 2) イメージングステーションおよびプローブをB棟スタッフルーム1に返却する。 3) 吸入麻酔キットもB棟スタッフルーム1に返却する。</td></tr></table>	予約方法	1) B棟1階スタッフルーム窓口にて ”Vevo2100予約表” を確認する。 2) B棟1階スタッフルームに ”Vevo2100利用申請書” を提出 (ラットでの利用の場合は循環器内科・酒井先生の許可が必要)	利用時間	午前9時～午後4時 (原則)	イメージングステーションおよびプローブ貸出方法	利用当日にスタッフルーム1で借りる。	Vevo移動方法	マウス解析室1以外に移動する場合はセンターの職員立ち会いで行う。 別紙 ”移動手順” 参照	消毒方法 (利用後および移動のため)	別紙 ”消毒方法” 参照 本作業は共同利用上たいへん重要な作業となります。 誤った消毒方法は機器の故障や劣化の原因となりますので 必ず別紙 ”Vevo2100消毒方法” に従って実施下さい。 また清掃・消毒が不十分な場合は、次回利用が できなくなる場合がありますので注意下さい。	吸入麻酔キット	吸入麻酔のための導入ボックス、チューブ、マスク類、余剰ガス吸収缶 および肛門プローブの一式は利用場所別に準備してあります。 利用前に、B棟スタッフルーム1にて借用の申し出を行って下さい。 使用後は別紙 ”消毒方法” に従い清掃・消毒し保管箱に収納下さい。	返却方法	1) Vevo2100はマウス解析室1へ返却する。 午後5時までに返却できない場合は翌朝9時に返却する。 (移動はセンター職員立ち会いで実施する) 2) イメージングステーションおよびプローブをB棟スタッフルーム1に返却する。 3) 吸入麻酔キットもB棟スタッフルーム1に返却する。
予約方法	1) B棟1階スタッフルーム窓口にて ”Vevo2100予約表” を確認する。 2) B棟1階スタッフルームに ”Vevo2100利用申請書” を提出 (ラットでの利用の場合は循環器内科・酒井先生の許可が必要)														
利用時間	午前9時～午後4時 (原則)														
イメージングステーションおよびプローブ貸出方法	利用当日にスタッフルーム1で借りる。														
Vevo移動方法	マウス解析室1以外に移動する場合はセンターの職員立ち会いで行う。 別紙 ”移動手順” 参照														
消毒方法 (利用後および移動のため)	別紙 ”消毒方法” 参照 本作業は共同利用上たいへん重要な作業となります。 誤った消毒方法は機器の故障や劣化の原因となりますので 必ず別紙 ”Vevo2100消毒方法” に従って実施下さい。 また清掃・消毒が不十分な場合は、次回利用が できなくなる場合がありますので注意下さい。														
吸入麻酔キット	吸入麻酔のための導入ボックス、チューブ、マスク類、余剰ガス吸収缶 および肛門プローブの一式は利用場所別に準備してあります。 利用前に、B棟スタッフルーム1にて借用の申し出を行って下さい。 使用後は別紙 ”消毒方法” に従い清掃・消毒し保管箱に収納下さい。														
返却方法	1) Vevo2100はマウス解析室1へ返却する。 午後5時までに返却できない場合は翌朝9時に返却する。 (移動はセンター職員立ち会いで実施する) 2) イメージングステーションおよびプローブをB棟スタッフルーム1に返却する。 3) 吸入麻酔キットもB棟スタッフルーム1に返却する。														
利用において最低限必要な消耗品(利用者各自で準備)	麻酔薬(イソフルレン) エコー用ゲル(別紙 ”プライムテック消耗品” 参照) 除毛クリーム(別紙 ”プライムテック消耗品” 参照) ペーパータオル 肛門プローブ用クリーム(別紙 ”プライムテック消耗品” 参照) 固定用テープ USBメモリー (ウイルスフリーであることが確認されたもの)														

注意事項 *利用の実際は、プライムテックにお問合わせください。
 *プローブは高価なものですので、取扱いには十分に注意下さい。
 *機器の破損やコンピューターウイルス感染が生じた場合、利用者の責任にて修理をお願いすることとなりますのでご了解下さい。

	氏名	担当	連絡先	email
管理責任者	杉山文博	生命科学動物資源センター	3384	bunbun@md.tsukuba.ac.jp
	梶原典子	(B棟マウス担当)	3391	kajiwara@md.tsukuba.ac.jp
	文随和美	(B棟ラット担当)	3391	bunzui@md.tsukuba.ac.jp
	長谷川賀一	(A棟マウス担当)	7857	gaichi.ha@md.tsukuba.ac.jp
管理協力者	酒井俊	循環器内科	7853	ssakai@md.tsukuba.ac.jp
	石津智子		91786	tomoco@md.tsukuba.ac.jp
	村越伸行		91755	n.murakoshi@md.tsukuba.ac.jp
技術相談	青木 貴宏	プライムテック	03-3816-0851	
	水流(つる)功春			

Vevo2100利用申請書

利用者	氏名： 所属： 連絡先：
支払責任者	氏名： 所属：
予約表の確認	有 ・ 無
利用動物	マウス ラット(循環器内科の許可：有 ・ 無)
利用場所	マウス解析室1 ラット手術室 個体解析室A 個体解析室B 個体解析室C 個体解析室D 個体解析室F1 個体解析室F2
利用日時	月 日 時～ 時まで (原則：午前9時～午後4時まで)

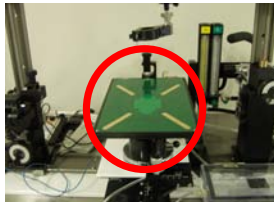
マウス解析室1以外での利用ににおける運搬はセンター職員の立ち会いが必要となります。

Vevo 2100 消毒方法

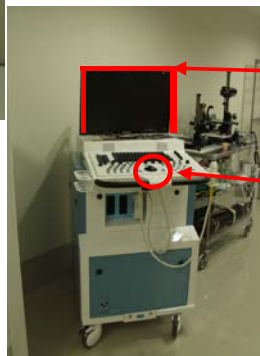
- 1 プラットフォームは台から外し、水で湿らせたキムタオルで汚れを落とし、Tスプレーを噴霧後キムワイプでふき取る
※ コネクター差し込み口にはTスプレーをかけない
- 2 麻酔箱、麻酔用マスク部分は水洗い後、水分を拭き取り、アルコール噴霧する
- 3 肛門用プローブは先端を水洗で汚れを落とした後、アル綿にてコードまでふき取る
※ コネクター部分は水に濡らさない
- 4 プローブ、TMH150本体はTスプレーを浸みこませたキムワイプでコードまでふき取る
- 5 VEVO本体のキーボードとボール、ディスプレイの縁(赤線部分)をアル綿でふき取る
- 6 固定台およびその周辺をアル綿にて丁寧にふき取る。
- 7 麻酔器等をアルコール噴霧し、作業台の上をアル綿でふき取る
- 8 プローブ、プラットフォーム、麻酔箱、麻酔用チューブ、麻酔回収缶、肛門用プローブ、消毒剤は元の箱に戻し、センタースタッフルームへ返却する



消毒剤(Tスプ)



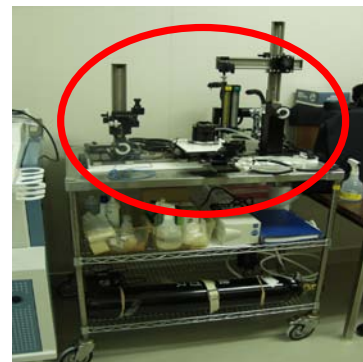
プラットフォーム



VEVO本体

ディスプレイ

ボー



固定台および麻酔器



TMH150本

BOX内物品(確認後返却してください)

①	麻酔導入用BOX
②	麻酔チューブ(透明太 2本)
③	麻酔チューブ (黒/白)
④	麻酔マスク
⑤	木炭フィルター(2本)
⑥	プラットフォーム
⑦	直腸プローブ
⑧	Tスプレー(消毒剤)
⑨	キムワイプ・キムタオル

他エリアへの移動について

A棟への移動

- 1 事前に移動時間をセンタースタッフと打ち合わせる
- 2 B棟センタースタッフが渡り廊下まで機器を移動し、VEVO本体と作業台の消毒を行う
- 3 A棟センタースタッフとともに各エリアのパスルームを通して個体解析室まで移動する
- 4 実験終了後消毒を行い、A棟センタースタッフとともに渡り廊下まで移動する
- 5 B棟センタースタッフがマウス解析室1まで移動する

ラット手術室への移動

- 1 事前に移動時間をセンタースタッフを打ち合わせる
- 2 機器の移動はラット飼育区域に入る前に行う
- 3 B棟センタースタッフとともにマウス解析室1内でVEVO本体と作業台の消毒を行う
- 4 ラット手術室まで、センタースタッフとともに移動する
- 5 実験終了後消毒を行い、センタースタッフとともにマウス前室前まで移動する
- 6 VEVO本体と作業台の消毒を行い、センタースタッフがマウス解析室1に移動する

プライムテック消耗品

商品名型式価格備考

- イメージングスターターキット (Vevo2100) SA-10907 46,000
- イメージングスターターキット (Vevo770) SA-11211 46,000
- イメージガイドインジェクションスターターキットSA-11059 95,000
- Pulled/BeveledEdgeガラスキャピラリー(10本入) SA-11052 49,500
- 未加工ガラスキャピラリー(約9cm長/100本入) SA-11454 10,000
- High-Wallペトリディッシュ(10個入) SA-11213 5,500 穴開きタイプ
- Low-Wallペトリディッシュ(10個入) SA-11620 5,500 穴開きタイプ
- 高粘度アクリルゲル(250mL×6本入) SA-11622 8,000 インジェクション用
- 低粘度エコーゲル(250mL×6本入) SA-11621 5,000 一般イメージング用
- ECGシグマゲル(3本セット/1本=60g入) Vevo-ECG-GELs 2,000
- Nairヘアリムハークリーム(3本/1本=175mL) Vevo-HRMCs 8,500
- 直腸プローブ用潤滑ゲル(3本/1本=130g) Vevo-3Aquagel 2,000
- T-Spray_Vevo用消毒剤(3本) Vevo-ATSs 8,500
- Vevoコンホート麻酔システム用交換木炭フィルターSA-11300 3,000 カートリッジ1本

※構成部品：

■SA-10907/SA-11211 スターターキット：必要ゲル類一式、ガーゼ、プラスチックボトル2本、コットンチップ、テープ、ヘアリムオーバー、抗ウイルススプレー

■SA-11059 インジェクションスターターキット：Pulled/BeveledEdgeキャピラリー10本、High/Low-Wallペトリディッシュ各10個、ハーフムン型メンブロン3種、ペトリディッシュ・シール用メンブロン50枚、メンブロンテープ50枚、モデリング用粘土、大小シリンジ、ミネラルオイル